Ⅰ　水道事業の概要

出雲市水道事業の概要表

（平成31年3月31日現在）

行政区域内人口　※1	175,593　人
給水区域内人口	145,718　人
計画給水人口	144,000　人
現在給水人口	144,407　人
普及率　※2	99.1　%
給水区域面積	236.48　㎢
計画1日平均給水量	46,400　㎥
計画1日最大給水量	56,700　㎥
水源の数	43　箇所
浄水場の数	12　箇所
配水池の数	150　箇所
水道管の総延長	1,777　km
給水区域内専用水道施設数	5　箇所

※1　行政区域内人口は、斐川宍道水道企業団水道事業の人口を含む
※2　普及率は、給水区域内人口に対する現在給水人口の比率

1. 水道事業の沿革

※出雲地域

上水道事業の発足　昭和 33 年４月に今市水道㈱から買収

第１次拡張事業　昭和 33 年４月～（総事業費 161,863 千円）
計画給水人口 31,500 人・計画一日最大給水量 11,500 ㎥
七面山配水池（2,000 ㎥）を新設
神門・長浜・川跡・高浜を統合（S40）

第２次拡張事業　昭和 40 年４月～（総事業費 217,641 千円）
計画給水人口 50,000 人・計画一日最大給水量 18,250 ㎥
高松・古志・神西・外園・鳶巣・朝山の一部を給水区域に加える
七面山配水池２基（1,000 ㎥×２）を増設（S42）
妙見山配水池（974 ㎥）を新設（S43）
大社町へ分水開始（S42）

第３次拡張事業　昭和 45 年４月～（総事業費 1,523,322 千円）
計画給水人口 68,000 人・計画一日最大給水量 40,000 ㎥
向山配水池（10,000 ㎥）を新設（S48）し、配水系統を七面山系統と向山系統に二分
湖陵町へ分水開始　（S47）

第４次拡張事業　昭和 54 年３月～（総事業費 6,015,465 千円）
計画給水人口 90,200 人・計画一日最大給水量 60,000 ㎥
上島水源地の建設（日量 30,000 ㎥を取水）
上津・稗原を統合（S63）
所原・見々久・上新宮地区を給水区域に加える

第５次拡張事業　平成９年４月～（総事業費 9,020,400 千円）
計画給水人口 99,200 人・計画一日最大給水量 55,500 ㎥
新向山配水池（7,000 ㎥）を新設、送配水管整備（H17）
北山配水池（400 ㎥）を新設、ポンプ場、上津・稗原給水区域の整備
給水水質の向上（赤水､クリプトスポリジウム対策）
来原浄水施設の築造（H13～18）
石綿セメント管の布設替え

※平田地域

水道事業の発足	昭和 28 年２月～（総事業費 54,500 千円） 計画給水人口 10,000 人・計画一日最大給水量 1,400 ㎥ 平田町の市街地・灘分町の一部を給水地域に加える
第１次拡張事業	昭和 31 年 11 月～（総事業費 85,600 千円） 計画給水人口 16,000 人・計画一日最大給水量 2,400 ㎥ 平田地域の平坦部全域東西 10 ㎞にわたる配水管の拡張、愛宕山配水池、布崎配水池、国富配水池の新設、緩速ろ過池２池新設、水源地の整備
第２次拡張事業	昭和 37 年 12 月～（総事業費 22,051 千円） 計画給水人口 20,000 人・計画一日最大給水量 3,600 ㎥ 第２水源新設、緩速ろ過池２池及び浄水池１池増設、送配水管拡張
第３次拡張事業	昭和 48 年２月～（総事業費 434,841 千円） 計画給水人口 20,000 人・計画一日最大給水量 6,800 ㎥ 第３水源新設、第４水源（美談）新設、浄水施設の改良（急速ろ過機等）、送配水管拡張、愛宕山配水池（2,500 ㎥）新設
第４次拡張事業	昭和 52 年 11 月～（総事業費 218,900 千円） 計画給水人口 24,000 人・計画一日最大給水量 8,400 ㎥ 美野を統合、既設水源井の改良による取水量増設
第５次拡張事業	平成２年 12 月～（総事業費 758,000 千円） 計画給水人口 24,700 人・計画一日最大給水量 10,000 ㎥ 金山水源新設（1,000 ㎥）、灘分水源改良（7,900 ㎥）、第４水源（美談）改良（600 ㎥）
灘分浄水場改良	平成 12 年度～16 年度（老朽施設の改修・水源別浄水方法の変更） 総事業費　1,654,000 千円

※大社地域

水道事業の発足	昭和 42 年３月 31 日事業創設認可 昭和 43 年５月１日 　出雲市から分水し、遙堪簡易水道事業により給水開始 　その後、荒木簡易水道事業により給水開始
上水道事業の発足	昭和 55 年度　大社町上水道事業基本計画を策定 昭和 56 年４月～　上水道事業発足 　計画給水人口 16,690 人・計画一日最大給水量 7,425 ㎥ 　杵築・遙堪・荒木を給水区域に加える
事業概要・経緯	昭和 56 年度・昭和 57 年度 　浜受水場、浜山配水池（3,300 ㎥）等の主要施設を整備 昭和 59 年度 　湊原、大梶、四軒屋、川方西・南の一部に配水管布設 昭和 63 年度 　菱根の一部に配水管布設 平成元年度 　遙堪地区山手の４箇所に増圧ポンプ施設を設置 平成６年度～ 　年次計画により上水道未普及地域の解消を図る

※上水道事業全域

平成 17 年 3 月

市町村合併に伴い、平田市水道事業及び大社町水道事業を統合（H17.3.22）

平成 19 年度

来原浄水場（自家発電設備設置）、平田地域石綿管更新（～H20）、
県受水関連管路整備（～H22）

平成 20 年度

山廻制御弁室築造

平成 21 年度

新向山系配水本管整備（～国道 9 号バイパス）（～H23）
鷹の沢制御弁室築造
灘分浄水場自家発電設備設置
上津浄水場整備（紫外線）（～H23）

平成 22 年度

来原調整池耐震化
県受水関連施設整備（本郷配水池・伊野配水池）
水道未普及地域解消事業着手　大社中山地区（～H25）、平田鹿園寺地区（～H23）

平成 23 年度

島根県水道用水供給事業からの受水開始（H23.4.1）
地合簡易水道の上水統合（H23.4.1）
金山水源地硬度処理設備設置
水道未普及地域解消事業着手　平田苅藻谷地区（～H25）

平成 24 年度

湖陵・差海簡易水道の上水統合（H24.4.1）
上島水源地　第 7 取水井増設
水道未普及地域解消事業給水開始　平田鹿園寺地区

平成 25 年度

妙見山配水池に緊急遮断弁設置

平成 26 年度

大社中山地区、平田苅藻谷地区給水開始
簡易水道統合に向けた水道事業変更認可申請の提出と管路更新計画の策定

平成 27 年度

向山配水池等再構築事業の着手（～H30）

平成 28 年度

新向山系配水本管整備（国道 9 号　中野美保交差点～大津朝倉北交差点）

平成 29 年度

乙立・河下広域・東部統合・美保塩津・日御碕・鷺浦猪目・須佐・窪田・多伎簡易水道と多久谷畑飲料水供給施設の上水統合（H29.4.1）

新向山第２配水池（3,300 ㎥）供用開始（H29.5.18）

向山系送水管（北回りφ500）管路更生

平成 30 年度

向山配水池（9,000 ㎥）供用開始　（H31.1.24）

新向山系配水本管整備（国道９号　大津朝倉北交差点～姫原東交差点）

金山水源の使用を中止し灘分系給水区域に切替　（H31.3.22）

多久谷畑系を県水受水系給水区域に切替　（H31.3.27）

２．平成３０年度（2018）の事業概要

（概況）

平成 30 年度は、「安全で安心な水を安定供給し続ける水道」を基本理念とした「出雲市水道事業ビジョン」を策定し、これに基づいた「出雲市水道事業基本計画」等の各種計画を立て、施設の更新や耐震化等の取組を進めました。

業務面では、給水人口・給水戸数とも前年度より増加しましたが、年間総配水量及び年間総有収水量は、前年度より減少しました。また、施設面では、4 か年の継続事業であった向山配水池等再構築事業の最終年で、向山配水池（容量 9,000 ㎥）が完成し、平成 31 年 1 月から供用を開始しました。

水道事業は、節水機器の普及等により料金収入が減少する一方、施設の更新や耐震化のための支出が増加する状況にあります。このような中、平成 30 年 10 月に、令和 2 年 4 月から、水道料金を平均 12.5%引き上げる出雲市水道料金等審議会の答申がありました。この内容を慎重に検討した結果、答申のとおりの改定が必要と判断しました。

水道は、市民の生活に欠かせないものであり、将来にわたって高い安全性が求められる施設です。常に良好な状態となるよう整備が必要であるとともに、近年全国的に大規模な災害が頻発する中、災害に強い施設とする必要があります。

引き続き、「出雲市水道事業ビジョン」に基づいた計画的な施設の更新や耐震化等の取組を進めるとともに、維持管理経費の節減や収入の確保など、中長期的視点に立った経営基盤の強化に努めます。

（業務の状況）

給水戸数は 55,477 戸（前年度 54,538 戸）、給水人口は 144,407 人（前年度 144,283 人）となり、いずれも前年度より増加しました。また、給水区域内人口 145,718 人（前年度 145,711 人）に対する普及率は 99.1%（前年度 99.0%）となりました。

年間総配水量は 16,913,517 ㎥（前年度 17,235,381 ㎥）、年間総有収水量は 15,617,536 ㎥（前年度 15,848,336 ㎥）となり、いずれも前年度より減少しましたが、有収率は 92.3%（前年度 92.0%）となり、前年度より上昇しました。

（経営の状況）

ア．収益的収入及び支出（消費税抜）

収入は 3,252,174 千円、支出は 3,089,842 千円となり、収入支出差引で 162,332 千円の純利益となりました。

前年度と比較すると、収入は、受託工事収益の増加がありましたが、有収水量の減少に伴う水道料金収入の減少などにより 16,133 千円の減額となりました。支出は、電気料金の高騰による動力費の増加、受託工事費の増加などにより 2,616 千円の増額となり、この結果、純利益は前年度より 18,749 千円の減額となりました。

イ．資本的収入及び支出（消費税込）

収入は 888,884 千円、支出は 2,885,776 千円となり、収入支出差引で 1,996,892 千円の収支不足となりました。

前年度と比較すると、収入は、旧簡易水道事業の企業債償還元金に対する繰入金の増加などにより、7,216 千円の増額となりました。支出は、工事費や委託料の増加などにより 650,460 千円の増額となり、この結果、収支不足額は前年度より 643,244 千円の増額となりました。

なお、不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填しました。

（建設改良工事等）

ア．拡張事業

主なものとして、「国道 9 号バイパス大津朝倉北交差点～姫原東交差点配水本管布設工事」「上島町上島水源地第 1-2 揚水試験井築造工事」「国富町金山地区金山ポンプ場中央監視設備工事」など総額工事費 330,305 千円で実施しました。また、設計業務 1 件 900 千円を翌年度へ繰越しました。

イ．改良事業

主なものとして、「大津町出雲商業高校西送・配水管布設替工事」「向山配水池等再構築事業」「来原浄水場外計装設備更新工事」など総額工事費 1,527,376 千円で実施しました。また、関連する公共工事の繰越しなどに伴い、19 件 407,260 千円を繰越しました。

ウ．保存工事

主なものとして、「十間川水管橋塗装工事」「来原浄水場浅井戸系薬注ポンプ修繕工事」など、配水施設・水源施設の修繕工事を総額工事費 139,882 千円で実施しました。

３. 出雲市水道事業の推移

拡張事業の概要（事業認可）

認可項目＼事業名		第１次拡張事業 （買　　収）	第２次拡張事業	第３次拡張事業
年　月　日		昭和32年12月12日	昭和39年12月28日	昭和45年1月10日
計画	給水人口	31,500人	50,000人	68,000人
	１日最大給水量	11,500㎥	18,250㎥	40,000㎥
	１人１日最大給水量	365ℓ	365ℓ	590ℓ
着工年月日		昭和33年4月1日	昭和40年4月1日	昭和45年4月1日
竣工年月日		昭和37年3月31日	昭和43年3月31日	昭和56年3月31日
事業費		161,863千円	217,641千円	1,523,322千円
主要施設 ※第５次拡張事業（３回目変更）までは実績、第６次拡張事業及び第７次拡張事業は計画を記載		※今市水道（株）から買収 ※取水施設 取水井φ5,000×２井 導水管φ300　488m ※送水施設 ポンプ　５台 送水管φ350　1,406m ※配水施設 配水池1,000㎥×２池 配水管φ100～φ400 25,248m	※取水施設 取水井φ5,000×２井 導水管φ300～φ500 592m ※送水施設 ポンプ　５台 送水管φ350　1,409m ※配水施設 配水池1,000㎥×２池 （ＰＣ）487㎥×１池 配水管φ100～φ350 43,909m	※取水施設 取水井（満州井戸） φ5,000×３井 ポンプ井φ5,000×１井 導水管φ300～φ800 621m 深井戸φ750×２井 取水ポンプ　２台 ※浄水施設 急速ろ過装置　１式 接触槽　１式 沈殿池　１池 ※送水施設 ポンプ　３台 自動制御装置　１式 電気設備　１式 送水管φ500　1,525m ※配水施設 配水池10,000㎥×１池 （ＰＣ）486㎥×１池 配水管φ100～φ700 85,434m 減圧調整弁　１式 テレメーターテレコン装置　１式

第５次拡張事業	第５次拡張事業 （１回目変更）	第５次拡張事業 （２回目変更）
平成13年(2001) １月19日	平成13年(2001)12月 ７ 日	平成15年(2003) ３月31日
99,200人	99,200人	99,200人
55,500㎥	55,500㎥	55,500㎥
559ℓ	559ℓ	559ℓ
平成13年(2001) ４月 １ 日	平成14年(2002) ４月 １ 日	平成15年(2003) ４月 １ 日
平成19年(2007) ３月31日	平成19年(2007) ３月31日	平成19年(2007) ３月31日
9,020,400千円	—	—
※取水施設(上島) 取水井φ1,000×２井 取水井管φ200～φ300 1,100m 取水ポンプ　２台 ※導水施設 導水ポンプ 来原　11台 上島　３台 導水管φ200～φ600 ※浄水施設(来原) 浄水処理施設 着水井、急速かく拌池 急速ろ過池　１池 浄水池　１池 電気計装　１式 排水処理施設 排水池　１池 天日乾燥床　６池 管理棟　１棟 ※送水施設 送水ポンプ　９台 送水管φ500　2,120m ※配水施設 新向山配水池　２池 北山配水池　２池 奥井谷配水池　１池 大平配水池　１池 配水管布設φ75～φ700 23,751m ※その他 流量計、緊急遮断弁 緊急貯留槽 ※用地取得　8,602㎡		※飲料水供給施設 (天王山地区) 天王山ポンプ所　１式 天王山加圧ポンプ所１式 送・配水管φ25～φ75 715.5m (三坂地区) 三坂第１加圧ポンプ所 １式 三坂第２加圧ポンプ所 １式 配水管φ25～φ75 3,100.5m	※飲料水供給施設 (畑地区) 畑加圧ポンプ所　１式 配水管φ25～φ50 1,576m

第５次拡張事業	第５次拡張事業 （１回目変更）	第５次拡張事業 （２回目変更）
平成13年(2001) １月19日	平成13年(2001)12月 ７ 日	平成15年(2003) ３月31日
99,200人	99,200人	99,200人
55,500㎥	55,500㎥	55,500㎥
559ℓ	559ℓ	559ℓ
平成13年(2001) ４月 １ 日	平成14年(2002) ４月 １ 日	平成15年(2003) ４月 １ 日
平成19年(2007) ３月31日	平成19年(2007) ３月31日	平成19年(2007) ３月31日
9,020,400千円	―	―
※取水施設(上島) 取水井φ1,000×２井 取水井管φ200～φ300 1,100m 取水ポンプ　２台 ※導水施設 導水ポンプ 来原　11台 上島　３台 導水管φ200～φ600 ※浄水施設(来原) 浄水処理施設 着水井、急速かく拌池 急速ろ過池　１池 浄水池　１池 電気計装　１式 排水処理施設 排水池　１池 天日乾燥床　６池 管理棟　１棟 ※送水施設 送水ポンプ　９台 送水管φ500　2,120m ※配水施設 新向山配水池　２池 北山配水池　２池 奥井谷配水池　１池 大平配水池　１池 配水管布設φ75～φ700 23,751m ※その他 流量計、緊急遮断弁 緊急貯留槽 ※用地取得　8,602㎡		※飲料水供給施設 (天王山地区) 天王山ポンプ所　１式 天王山加圧ポンプ所１式 送・配水管φ25～φ75 715.5m (三坂地区) 三坂第１加圧ポンプ所 １式 三坂第２加圧ポンプ所 １式 配水管φ25～φ75 3,100.5m	※飲料水供給施設 (畑地区) 畑加圧ポンプ所　１式 配水管φ25～φ50 1,576m

第５次拡張事業 （３回目変更）	第６次拡張事業	第７次拡張事業	第７次拡張事業 （１回目変更）変更届
平成17年(2005)３月14日	平成21年(2009)４月１日	平成27年(2015)４月７日	平成31年(2019)２月22日
140,590人	133,300人	138,600人	(144,000人)
68,365㎥	60,800㎥	55,700㎥	(56,700㎥)
486ℓ	456ℓ	402ℓ	(394ℓ)
平成17年(2005)３月22日	平成21年(2009)４月１日	平成27年(2015)４月７日	平成30年(2018)10月１日
平成19年(2007)３月31日	平成31年(2019)３月31日	平成36年(2024)３月31日	平成40年(2028)３月31日
―	7,850,000千円	11,485,000千円	―
水道事業の統合 （平田市水道事業、大社町水道事業）	１．上津浄水場の浄水方法の変更 紫外線処理施設の新設 ２．県からの受水に伴う水源種別の変更等 平田地域 檜山・東・伊野地区 久多見町、野石谷町 上岡田町、多久町 多久谷町 ３．未普及地域の解消 平田地域 鹿園寺地区、苅藻谷地区 大社地域 中山地区 ４．簡易水道事業の統合に伴う給水区域の拡張 湖陵簡易水道、差海簡易水道、地合簡易水道、河下広域簡易水道	１．簡易水道事業の統合に伴う給水区域の拡張 乙立簡易水道 塩津簡易水道 美保簡易水道 東部統合簡易水道 須佐簡易水道 窪田簡易水道 多伎簡易水道 鷺浦猪目簡易水道 日御碕簡易水道 の９簡易水道事業と 多久谷畑飲料水供給施設を廃止し上水道事業に統合	１．給水区域の変更（軽微） 次期可燃ごみ処理施設の区域拡張 ２．給水人口の変更（軽微）

※第5次拡張事業（2回目変更）までは旧出雲市の拡張事業

４. 給水区域（平成 31 年(2019)3 月 31 日現在）

出雲地域

今市町、今市町北本町１～５丁目、今市町南本町、駅北町、駅南町１～３一丁目、大津町の一部、大津新崎町１～７丁目、大津朝倉１～３丁目、枝大津町、上塩冶町の一部、塩冶町、天神町、塩冶有原町１～６丁目、塩冶町南町１～５丁目、塩冶神前１～６丁目、医大南町１～３丁目、塩冶原町１～３丁目、塩冶善行町、築山新町、古志町の一部、高松町、白枝町、松寄下町、下横町、浜町、矢野町、姫原町、姫原１～４丁目、小山町、大塚町、渡橋町、矢尾町の一部、日下町の一部、里方町、平野町、常松町、八島町、江田町、武志町、中野町、中野美保南１～３丁目、中野美保北１～３丁目、荻杼町、稲岡町、高岡町、東林木町の一部、西林木町の一部、上島町の一部、船津町の一部、西谷町、稗原町の一部、野尻町の一部、宇那手町の一部、朝山町の一部、馬木町の一部、馬木北町、所原町の一部、見々久町の一部、乙立町の一部、下古志町、芦渡町の一部、神門町の一部、知井宮町の一部、西新町１～３丁目、東神西町の一部、西神西町の一部、神西沖町、大島町、神西新町、荒茅町、東園町、西園町、外園町、長浜町、平成町

平田地域

平田町、西平田町、灘分町、美談町の一部、西代町、国富町の一部、口宇賀町の一部、西郷町、万田町の一部、奥宇賀町の一部、十六島町の一部、釜浦町の一部、小津町の一部、河下町の一部、別所町の一部、唐川町の一部、本庄町の一部、猪目町の一部、東郷町、東福町の一部、久多見町の一部、野石谷町の一部、上岡田町の一部、岡田町、多久谷町の一部、多久町の一部、園町の一部、鹿園寺町の一部、小境町の一部、塩津町の一部、美保町の一部、三津町の一部、小伊津町の一部、坂浦町の一部、地合町の一部、美野町、野郷町の一部

佐田地域

佐田町朝原の一部、佐田町須佐の一部、佐田町原田の一部、佐田町大呂の一部、佐田町反辺の一部、佐田町吉野の一部、佐田町一窪田の一部、佐田町毛津の一部、佐田町佐津目の一部、佐田町高津屋の一部、佐田町下橋波の一部、佐田町上橋波の一部、佐田町東村の一部、佐田町八幡原の一部

多伎地域

多伎町神原の一部、多伎町奥田儀の一部、多伎町口田儀の一部、多伎町小田の一部、多伎町多岐の一部、多伎町久村の一部

湖陵地域

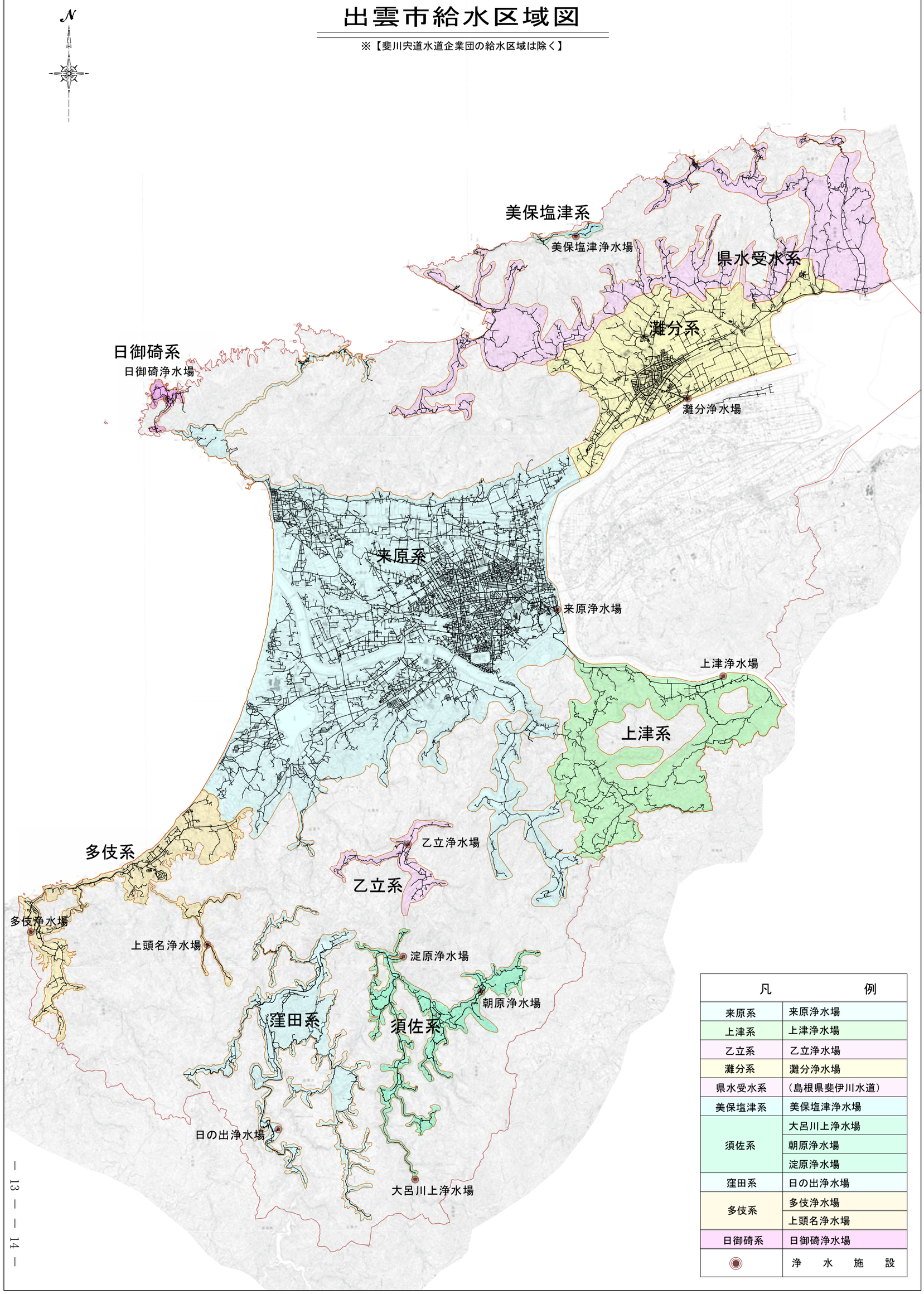
湖陵町畑村の一部、湖陵町常楽寺の一部、湖陵町二部の一部、湖陵町三部の一部、湖陵町大池、湖陵町板津、湖陵町差海

大社地域

大社町杵築東の一部、大社町杵築西、大社町杵築南、大社町杵築北の一部、大社町北荒木、大社町中荒木、大社町修理免の一部、大社町遙堪の一部、大社町入南、大社町菱根の一部、大社町日御碕の一部、大社町宇龍の一部、大社町鷺浦の一部、大社町鵜峠の一部

出雲市給水区域図

※【斐川宍道水道企業団の給水区域は除く】



凡	例
来原系	来原浄水場
上津系	上津浄水場
乙立系	乙立浄水場
灘分系	灘分浄水場
県水受水系	（島根県斐伊川水道）
美保塩津系	美保塩津浄水場
須佐系	大呂川上浄水場
	朝原浄水場
	淀原浄水場
窪田系	日の出浄水場
多伎系	多伎浄水場
	上頭名浄水場
日御碕系	日御碕浄水場
◉	浄　水　施　設